

5/30 – Lecture 1.

「オーストラリアのすばらしいバラ園」

講師：ケルヴィン・トリンパー氏

世界バラ会連合副会長（オーストララシア担当）、オーストラリアばら会前会長、
南オーストラリアばら会前会長、オーストラリア国立バラ試作場代表

オーストラリアは非常に大きな国である。北の熱帯地域から南端の穏やかで涼しい地域（タスマニア島）まで、気候の幅が広い。南オーストラリアのほとんどは地中海気候であり、冬は涼しく、または寒く、雨が多く、春と秋は穏やかで湿気があり、夏は暑く乾燥して長い。

オーストラリアには自生する野生バラはない。しかしバラ科の大部分の植物、たとえば核果をもつ果物の仲間（アンズ、モモ、プラム、ネクタリン、サクランボ等）もバラもオーストラリアの気候に合っている。

ヨーロッパからの移民が 200 年以上前に私達の国にやってきたとき、彼らは故郷を思い起こさせるような庭や公園を再現しようとした。灌水さえすればバラを含むいくつかの植物はとてもよく育ち、現在もオーストラリアの庭園で人気が高い。

この発表では、すばらしいオーストラリアの庭園を公共のものも民間のものもあわせて紹介する。とてもモダンなデザインな庭もあれば、整形庭園もある。バラだけを植えた庭もあれば、ほかの植物とともにバラを植えた庭もある。オーストラリアのすべての州のバラ園をとりあげる。ヴィクトリア州からは WFRS 優秀庭園賞を受けた 2 つのバラ園、南端のタスマニア州からは寒冷な気候の美しいバラ園、ニューサウスウェールズ州からは南半球で最も古い植物園のひとつであるシドニー王立植物園、クイーンズランド州、南オーストラリア州、西オーストラリア州からはすばらしい公立と私立の庭を紹介する。

オーストラリアにはすばらしいバラ園があることを、写真を多く使った発表で知っていただきたい。